

| 単元名                             | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい)  | 単元のまとまりの評価規準                                 |  |   |
|---------------------------------|----|---|--|--|---|
|                                 |    |   | 【知識・技能】                                      | 【思考・判断・表現】   | 【主体的に学習に取り組む態度】   |
| わたしたちの町、平井・小松川<br>(町のじまんを紹介しよう) | 12 | 学校の周りの地域に関心をもち、課題を見つけて自分なりの方法で解決することができる。                           | 施設の特徴を理解している。                                | インタビューなどで調べたことを、わかりやすくまとめている。  | 学校の周りの地域に関心をもち、自分なりの方法で調べている。学習から得た情報を自分の生活に役立てようとしている。 |
| プログラミングビズケット                    | 2  | プログラムの存在を知り、身近な生活でプログラミングが使われていることやコンピューターが世の中の役に立っていることに気付くことができる。 | プログラムとは手順を自動化したものであること、明確な指示が必要であることを理解している。 | 目的に合わせて、必要な要素を自ら見出す。   | 目の前の問題を解決済みの問題と比較し、類似性や関係性を適用して問題解決に利用している。             |
| 地域の人と仲良くなろう                     | 10 | 身近な地域や人々のよさに気付き、必要な情報を集め、発表することができる。                                | 地域に対する人々の関わりについて理解している。                      | インタビューなどで調べたことを、わかりやすくまとめている。<br>友達と交流し、発表内容から気付いたことなど、新たな情報を整理している。 | 地域の特徴などを自分なりに計画を立てて調べ、見通しをもって学習している。                    |
| 地域の絵文字を知らせよう                    | 11 | 学校の近くにある絵文字に関心をもち、課題を見つけて調べたことを発表することができる。                          | 地域の絵文字の種類や意味、地域との関係について理解している。               | 調べたことをわかりやすくまとめている。  | 絵文字の特徴を調べて見通し手をもって学習している。                               |

|    |           |    |      |
|----|-----------|----|------|
| 教科 | 総合的な学習の時間 | 学年 | 第4学年 |
|----|-----------|----|------|

| 単元名                       | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい)  | 単元のまとまりの評価規準                                 |   |   |
|---------------------------|----|---|--|---|---|
|                           |    |   | 【知識・技能】                                      | 【思考・判断・表現】  | 【主体的に学習に取り組む態度】   |
| 日本らしい自然の再生                | 10 | 日本の様々な自然を調べる活動を通して、疑問や課題をもち、進んで調べ、よりよく問題を解決しようとすることができる。            | 日本の自然の特徴を知り、課題を理解している。                       | 日本の自然の特徴をよりよい方法でまとめている。   | 日本の自然の課題を見直し、よりよい未来社会にしようとしている。                                   |
| プログラミングビスケット              | 2  | プログラムの存在を知り、身近な生活でプログラミングが使われていることやコンピューターが世の中の役に立っていることに気付くことができる。 | プログラムとは手順を自動化したものであること、明確な指示が必要であることを理解している。 | 目的に合わせて、必要な要素を自ら見出している。   | 目の前の問題を解決済みの問題と比較し、類似性や関係性を適用して問題解決に利用している。                       |
| わたしたちの町、平井・小松川(地域安全マップ作り) | 12 | 学校の周りの地域に関心をもち、課題を見つけて自分なりの方法で解決することができる。                           | 学校の周りにある安全な場所や危険な場所、関係する取り組みについて理解している。      | 施設の特徴や商店の工夫など、自分なりに計画を立てて調べ、見通しをもって学習している。インタビューなどで調べたことを、わかりやすくまとめている。 | 学校の周りにある地域に関心をもち、自分なりの方法で調べている。学習から得た情報を自分の生活に役立てようとしている。         |
| プログラミング                   | 11 | プログラムは順次、繰り返し、条件分岐という処理の組み合わせで構成されていることを理解する。                       | 様々なセンサーの役割を知り、センサーなどを使ったプログラミングができること。       | 目的に合わせて、最適な要素だけを見出すことができる。  | 過去の解決済みの問題から、解決策の類似性や関係性を見出し、共通する規則や原則を一般化して、他の問題に当てはめて解決に利用すること。 |

|    |           |    |      |
|----|-----------|----|------|
| 教科 | 総合的な学習の時間 | 学年 | 第5学年 |
|----|-----------|----|------|

| 単元名                            | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい)   | 単元のまとまりの評価規準                           |                            |  |
|--------------------------------|----|--|--|----------------------------|--|
|                                |    |  | 【知識・技能】                                | 【思考・判断・表現】                 | 【主体的に学習に取り組む態度】  |
| バケツ稲に挑戦                        | 14 | 苗を植える体験や稲の成長の様子を調べる活動を通して、米に対する疑問や課題をもち、進んで調べ、よりよく問題を解決することができる。 | 稲の成長、農家の方の工夫や思いを理解している。                | 稲の成長の過程をよりよい方法でまとめている。     | 米作りから食生活を見直し、よりよい生き方をしようとしている。米作りの体験やゲストティーチャーの話など、目的意識をもって活動している。 |
| プログラミングスクラッチ                   | 2  | プログラムは順次、繰り返し、条件分岐という処理の組み合わせで構成されていることを理解する。                    | 様々なセンサーの役割を知り、センサーなどを使ったプログラミングができること。 | 目的に合わせて、最適な要素だけを見出すことができる。 | 過去の解決済みの問題から、解決策の類似性や関係性を見出し、共通する規則や原則を一般化して、他の問題に当てはめて解決に利用すること。  |
| 日本らしい自然の再生                     | 11 | 日本の様々な自然を調べる活動を通して、疑問や課題をもち、進んで調べ、よりよく問題を解決しようとするすることができる。       | 日本の自然の特徴を知り、課題を理解している。                 | 日本の自然の特徴をよりよい方法でまとめている。    | 日本の自然の課題を見直し、よりよい未来社会にしようとしている。                                    |
| 雪国のくらしを調べよう<br>(ウインタースクールに向けて) | 8  | ウインタースクールに向けて、雪国の自然や特徴を事前に学習することで、実際に体験したことをもとに新たな課題を見出すことができる。  | 雪国の自然や特徴について理解している。                    | 雪国について調べたことを工夫して表現している。    | 雪国について興味をもったことを調べようとしている。事前に調べたことをもとに、自分のこれまでの経験や知識を深めようとしている。     |
|                                |    |  |  |                            |  |

|    |           |    |      |
|----|-----------|----|------|
| 教科 | 総合的な学習の時間 | 学年 | 第6学年 |
|----|-----------|----|------|

| 単元名                         | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい)  | 単元のまとまりの評価規準                           |  |  |
|-----------------------------|----|---|--|--|--|
|                             |    |   | 【知識・技能】                                | 【思考・判断・表現】                               | 【主体的に学習に取り組む態度】  |
| 日本のよさを発見しよう<br>(日光移動教室に向けて) | 13 | 日光の地域や歴史的建造物を事前に学習することで、実際に体験したことをもとに新たな課題を見出すことができる。                                     | 日光の自然や歴史的背景について理解している。                 | 日光について調べたことを工夫して表現している。                  | 日光について興味をもったことを調べようとしている。<br>事前に調べたことをもとに、自分のこれまでの経験・知識を活用し、さらに学習を深めようとしている。 |
| 地球のためにできること<br>～SDGsを通して～   | 15 | SDGsに関心をもち、持続可能な社会づくりに関わる課題を見出すことができる。  | SDGsについて理解している。                        | 自分が日常的に取り組めることを調べ、わかりやすくまとめている。          | 社会的に取り組まれているSDGsに関心をもち、自分なりの方法で調べている。学習から得た情報を自分の生活の中で取り組もうとしている。            |
| プログラミングスクラッチ                | 2  | プログラムは順次、繰り返し、条件分岐という処理の組み合わせで構成されていることを理解する。<br>簡単なプログラムができたり、プログラムからコンピューターの動きを想像できること。 | 様々なセンサーの役割を知り、センサーなどを使ったプログラミングができること。 | 目的に合わせて、最適な要素だけを見出すことができる。               | 過去の解決済みの問題から、解決策の類似性や関係性を見出し、共通する規則や原則を一般化して、他の問題に当てはめて解決に利用すること。            |
| 6年間の振り返ろう<br>(キャリアプラン・卒業文集) | 8  | 今まで学習してきたことをもとに、自分を支えてくれた人の存在に目を向け、感謝の気持ちを表現する。   | 卒業に向けての取り組みを通して、たくさんの方とのつながりを理解している。   | 6年間の生活を振り返り、自分を支えてくれた人に感謝気持ちを表現しようとしている。 | 卒業に向けて、中学校に対する希望を見出している。   |